

平成30事業年度決算報告書

事業報告・財務諸表

公益財団法人 市原市文化振興財団

平成30事業年度
公益財団法人市原市文化振興財団事業報告 概要

当財団は、市原市の芸術文化、生涯学習及びコミュニティを振興するため、財団の持つ専門性や総合力を活かしながら、中長期経営方針「文化の香り高いまちづくりを目指して」の4本の柱である「文化芸術振興の拠点づくり」「鑑賞型事業の更なる充実」「市内全域を対象としたアウトリーチ型事業の充実」「文化芸術の主演となる人材並びに文化芸術スタッフの育成・支援」を基本方針として各種事業を展開しました。

公益目的事業では、自主文化事業として、歌舞伎を分かりやすく体験・鑑賞できる「伝統芸能普及事業」や実験を通して子供たちに科学の面白さなどを伝える「出前講座サイエンスショー」、いちほら Artists Power の登録アーティストによる「まちくる！」をはじめとして、共催公演事業、支援事業など様々なジャンルの公演を14事業実施しました。受託文化事業としては、市原市市民会館（以下「市民会館」という。）の設置目的を達成するための事業として「親子で楽しむ室内管弦楽コンサート」や「夢の架け橋コンサート」など15事業を実施しました。また、施設貸出事業においては市民会館の指定管理者として、施設の貸出しや維持管理を適正に行いました。

また、市民会館利用者の利便性の向上を目的とした収益目的事業としては、飲食提供事業や舞台看板、ピアノ調律などの利便性向上事業、各種公演のチケット販売などを実施しました。

I 公益目的事業

1 文化事業

(1) 自主文化事業

財団の自主事業として実施した文化事業で、市内の学校に出向いてのアウトリーチ型生涯学習事業や市内全域を視野に入れた公演、有名アーティストの公演、文化芸術に携わる人々を育成・支援する文化振興ボランティア事業やアーティストの登録・育成事業などのさまざまな自主文化事業を実施しました。

①自主文化事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	いちばら Artists Power	31年3月31現在 登録アーティスト数49組		アーティストの育成・支援を目的としたアーティストの登録・育成事業。
2	いちばら 文化振興ボランティア	31年3月31現在 登録ボランティア数23名 参加者延べ人数13名		市民が気軽に文化活動に参加できる機会を提供し、文化活動を支援することを目的に実施したボランティアを育成する事業。
3	文化振興広報紙 「おんぷ」	年4回発行		財団主催の事業や市民会館で行われる公演の情報や施設の紹介など、市内の文化芸術の振興を目的に文化情報誌を発行する事業。
4	西野カナコンサート	30年5月19日 大ホール	1,393名	若者世代に人気のアーティストである西野カナを迎えての鑑賞型事業。
5	伝統芸能普及事業 「かぶき」ってなんだろう!?	5月29日 国分寺台東小 京葉小 5月30日 国分寺台西小 国分寺台小	356名 792名 582名 483名	日本の伝統芸能である歌舞伎を体験しながら鑑賞できる、未来を担う子供たちに日本古来の文化の普及・啓発を図ることを目的に実施した体験・鑑賞型事業。
6	出前講座サイエンスショー	6月19日 白幡小 市原小 6月20日 八幡小 石塚小 6月21日	231名 304名 485名 388名	実験を通して子供たちに科学の面白さ・不思議さを伝える目的で、米村でんじろうサイエンスプロダクションから講師を招聘し、財団の音響、照明技術を用いて実施した体験・鑑賞型事業。

		若宮小 菊間小	314名 305名	
7	まちくる！ vol.17 七夕コンサート vol.18 Winter Concert vol.19 如月コンサート vol.20 ひなまつりコンサート	7月7日 アリオ市原 31年2月9日 泉台コミュニティホール 2月24日 若宮団地 連合自治会館 3月3日 ユニモちはら台	350名 中止 130名 250名	いちはら Artists Power の登録アーティストによる音楽コンサートを身近な場所で鑑賞する機会を提供した育成・鑑賞型事業。 中島有子氏（フルート）、田中美里氏（ピアノ）による音楽コンサートを実施した。 萩原繭子氏（ピアノ）、山本智恵美氏（ソプラノ）による音楽コンサートを実施予定であったが、積雪が予想されたため中止した。 木村静子氏（オカリナ）、前田圭代氏（ピアノ）による音楽コンサートを実施した。 ピアノデュオ「music tree」による音楽コンサートを実施した。
8	フォレストコンサート in 市原	1月14日 大ホール	634名	中高年層に支持されている男女混声コーラスグループであるフォレストを迎えての鑑賞型事業。
9	出前寄席 桂歌助独演会	2月17日 加茂公民館 3月30日 アネッサ	70名 141名	古典芸能である落語を身近な場所で公演し、市原市内に芸術文化を普及することを目的に実施した鑑賞型事業。

②共催公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	市原フィルハーモニー 管弦楽団定期演奏会	11月18日 大ホール	1,221名	市内のアマチュア管弦楽団の公演を実施することで、音楽文化の普及と市民の文化活動への支援を目的とした鑑賞型事業。
2	市原市楽友協会 市民コンサート	12月2日 大ホール	695名	市内の音楽愛好団体である市原市楽友協会の公演を実施することで、音楽文化普及と市民の文化活動への支援を目的とした鑑賞型事業。

3	出光興産コンサート	12月8日 大ホール	1,300名	プロの吹奏楽アーティストの公演を市内企業と共催公演することにより、市民の音楽文化の発展とコミュニティの振興を目的とした鑑賞型事業。
---	-----------	---------------	--------	---

③支援事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	市原ハワイアンフラ フェスティバル	30年5月20日 上総更級公園	1,000名	市原ハワイアンフラ協会が行う文化イベントで、当財団が音響等の技術支援を実施した。
2	アリオ市原 de よさこいっ！	31年2月10日 アリオ市原	① 150名 ② 200名	よさこい団体「飛翠迅」が行う文化イベントで、当財団が音響等の技術支援を実施した。

(2) 受託文化事業（指定管理事業）

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館施設を市原市の文化の拠点と位置づけ、次の事業を実施しました。

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	バロックアンサンブル の楽しみ	30年4月14日 小ホール	158名	市原市内に工房があり、工芸作品のような芸術的な古楽器であるチェンバロの魅力を発信するとともに、普段なじみの少ないバロック音楽に触れる機会を提供することで、音楽芸術文化の振興を目的とした鑑賞型事業。
2	県民芸術劇場 親子で楽しむ 室内管弦楽コンサート ～3歳からの クラシック～	5月13日 小ホール	350名	3歳からの子供を対象に室内管弦楽コンサートを開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体験をすることで、未来を担う子供達にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらうことを目的とした体験・鑑賞型事業。
3	市民会館探検ツアー (2回実施)	7月28日 大ホール	97名 (ミライブ 102名)	市民会館施設や舞台の裏側をより深く知ってもらい、舞台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発するために実施する参加・体験型の探検ツアー。

4	One' s one こんさーと	8月5日 大ホール 小ホール	7組 13名	ホールで本番と同様に舞台・照明等をセットし、自由に練習できる場を設けることで、アマチュアの音楽活動を支援することを目的とした参加型事業。
5	いちはら名人寄席 桂雀々 古今亭菊之丞 柳家三三 三人会	9月1日 小ホール	274名	日本の伝統話芸である落語を鑑賞する場を提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機会をつくとともに、豊かな文化と芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。
6	おかあさんといっしょ (2回公演)	9月9日 大ホール	2,869名	テレビでお馴染みの子供に人気の着ぐるみの公演を実施することで、未来を担ういちはらの子供達に生涯学習の機会を与えるとともに、情操教育の一助となる鑑賞型事業。
7	D a - i C E コンサート	9月29日 大ホール	1,413名	人気グループの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。
8	市原市文化祭 ※市民会館で実施された事業のみ掲載 「三曲大会」 「合唱祭」 「工芸展」 「吟詠剣詩舞大会」 「古典舞踊大会」	 9月30日 小ホール 9月30日 大ホール 10月4日～7日 会議室棟 10月13日 小ホール 10月13日 大ホール	 60名 600名 1,360名 250名 500名	地域の伝統や文化を育み伝承していくため、市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を設けることで、市民文化活動の活性化を図ることを目的とし、市民と協働し元気なふるさとづくりを目指す参加・鑑賞型事業。 市民や団体が箏、三弦、尺八の3種の楽器を用いて、古曲、現代曲等の演奏を披露した文化公演。 市民や団体が女声、男声、混声、手話コーラスなどの合唱を披露した文化公演。 市民が製作した工芸作品を展示した文化事業。 市民や団体が吟詠に合わせ舞う剣舞と詩舞という古武道の格式と詩の心を表現した文化公演。 市民や団体が歌舞伎舞踊などの古典舞踊を披露した文化公演。

	「謡曲大会」	10月14日 小ホール	60名	幅広い世代の市民や団体が能の詞章を謡う謡曲を中心に披露した文化公演。
	「太鼓の輪」	10月14日 大ホール	450名	市民や団体が和太鼓の迫力と魅力、そして楽しさを披露した文化公演。
	「短歌大会」	10月21日 会議室棟	49名	市民が応募した短歌を発表する文化事業。
	「郷土芸能大会」	10月28日 小ホール	300名	市内各地域で伝承される郷土芸能である「おはやし」や「ひょっとこおどり」などを披露した文化公演。
	「民舞大会」	10月28日 大ホール	500名	市内の舞踊各流派の団体が、艶やかな着物姿で踊りを披露した文化公演。
	「民謡秋祭り」	11月4日 小ホール	300名	市民や団体が豊作、祭などに彩られる秋を舞台上で唄、三味線等で表現した文化公演。
	「ハワイアンフラ祭」	11月4日 大ホール	800名	市民や団体がハワイアンフラの魅力を伝え、披露した文化公演。
	「歌謡祭」	12月16日 小ホール	400名	市民や団体が日頃から練習している歌謡を披露した文化公演。
	「バレエ公演」	12月16日 大ホール	600名	市民や団体がバレエの華麗な舞を披露した文化公演。
9	CHEMISTRY LIVE TOUR	10月7日 大ホール	1,385名	人気歌手の公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
10	華道家 假屋崎省吾 花からはじまるライフ スタイル	10月8日 小ホール	295名	テレビでお馴染みの華道家の假屋崎省吾を招き講演を実施することで、文化芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。
11	生涯学習支援 市原市中学校 音楽発表会	11月1日 大ホール	1,500名	市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発表する場を設け、音楽芸術の向上と地域社会の活性化を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。
	市原市小学校 音楽発表会	11月2日 大ホール	1,500名	
	特連文化 フェスティバル	12月6日 大ホール	1,500名	市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化的活動を発表する場を設け、芸術文化に親し

				むことで地域コミュニティの交流と教育の向上並びに福祉の増進を図ることを目的とした参加・鑑賞型事業。
12	市民の日記念 夢の架け橋コンサート	11月3日 大ホール	1,201名	平成30年度に各種コンクール等で活躍した市内小・中学校の吹奏楽部等、県立千葉商業高校を招き、市民がその演奏や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向上を目的に実施した参加・鑑賞型事業。
13	人権・男女共同参画 フォーラム	12月1日 小ホール	402名	市原市人権・男女共同参画フォーラム実行委員会と協働して、市民の人権意識の高揚を図り、男女をめぐる意識改革を推進するために森永卓郎氏を招聘し実施した文化講演。
14	声優朗読劇 ヴェルサイユ騒動記	12月22日 大ホール	175名	優れた舞台芸術の公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術と芸術鑑賞に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。
15	市民参加型事業 Ichihara ストリートダンスイベント「ZONE」 (2回公演)	1月27日 大ホール	2,503名	ストリートダンスを愛好する市民や団体と財団が協働して作り上げる熱気あふれるステージを披露した公演。 今年で14回目を迎えた市民参加型事業。

2 施設管理運営事業

(1) 施設管理及び施設貸出

①ホール・会議室等の貸出業務

施設貸出業務は、ホール棟は31年2月から工事により休館となっているため、利用件数及び利用者数は減少したものの、1月末までの実績は前年と比べて同程度の利用件数及び利用者数でした。会議室棟は、30年4月の使用料改定の影響が大きく、30年度は利用件数及び利用者数ともに大幅に減少しています。

ア. 利用件数

(単位：件)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
29年度	206	227	1,497	123	2,053
30年度	169	188	1,300	106	1,763
前年度対比	82.0%	82.8%	86.8%	86.2%	85.9%

※大ホール、小ホールは、平成31年2月1日から工事のため休館

イ. 利用者数

(単位：人)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
29年度	119,327	50,338	46,103	7,211	222,979
30年度	105,100	44,169	40,866	7,100	197,235
前年度対比	88.1%	87.7%	88.6%	98.5%	88.5%

②保守点検・管理業務委託

利用者の安心安全を最優先に考え、設備機器等の保全を図るための保守点検を下記のとおり委託しました。また、修繕が必要となった箇所については、優先順位を付けるとともに職員で対応可能なものは職員で修繕を実施し、限られた修繕予算を有効に活用しました。

番号	委託業務名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	昇降機保守業務委託
4	消防設備保守業務委託
5	ホール舞台保守業務委託
6	ホール照明保守業務委託
7	放送装置保守業務委託
8	ピアノ保守業務委託
9	一般廃棄物処理業務委託
10	産業廃棄物処理業務委託
11	ストレージタンク性能検査に伴う受験準備整備委託
12	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託

II 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

飲食提供事業は、30年4月の会議室使用料改定により会議室利用者が減少したため、会議食の利用件数及び利用人数が減少しました。また、パーティーについても利用者数が減少傾向にあるため、委託業者との連携を密にし、宴会プランの見直し等を図り、集客に努めてまいります。

①利用件数 (単位：件)

区分	パーティー・会議食等	(うちパーティー)
29年度	194	120
30年度	153	103
前年度対比	78.9%	85.8%

②利用人数 (単位：人)

区分	パーティー・会議食等	(うちパーティー)
29年度	10,994	6,986
30年度	8,710	6,634
前年度対比	79.2%	95.0%

③飲食提供業務委託

委託業者名	委託期間
株式会社千葉正直屋	平成30年4月1日～平成31年3月31日

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

(1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施しました。

(2) 施設利用者の利便性向上のための事業

市原市市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律等の利用者サービス事業を実施しました。

Ⅲ その他の事業

施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施しました。

Ⅳ その他

1 理事会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第1回	30年5月10日	第1号	平成29事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告及び収支決算について	原案承認
		第2号	平成30事業年度第1回評議員会の開催について	原案を修正し可決
第2回	5月28日	第3号	理事長（代表理事）の選定について	原案可決
第3回	8月26日	第4号	公益財団法人市原市文化振興財団職員退職手当支給規程の一部改正について	原案可決
		第5号	平成30事業年度第2回評議員会の開催について	原案可決
第4回	12月20日	第6号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程の一部改正について	原案可決
		第7号	公益財団法人市原市文化振興財団契約規程の一部改正について	原案可決
		第8号	平成30事業年度第3回評議員会について	原案可決
第5回	31年3月1日	第9号	特定費用準備資金「市原市市民会館来館者8百万人記念事業準備資金」の名称変更について	原案可決
		第10号	資産取得資金「チケット予約システム取得資金」の積立計画中止について	原案可決
		第11号	資産取得資金「公用車取得資金」の積立計画中止について	原案可決
		第12号	平成30事業年度公益財団法人市原市文化振興財団補正予算（第1号）について	原案可決
		第13号	2019事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業計画について	原案可決
		第14号	2019事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算について	原案可決

		第 15 号	公益財団法人市原市文化振興財団就業規則の一部 改正について	原案可決
		第 16 号	公益財団法人市原市文化振興財団嘱託職員及び臨 時職員等就業規則の一部改正について	原案可決
		第 17 号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程の 一部改正について	原案可決

第 2 回、第 3 回及び第 4 回は決議の省略による。

2 評議員会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第 1 回	30 年 5 月 28 日	第 1 号	平成 29 事業年度公益財団法人市原市文化振興財 団事業報告及び収支決算について	原案承認
		第 2 号	理事の選任について	原案可決
		第 3 号	監事の選任について	原案可決
第 2 回	9 月 20 日	第 4 号	評議員の選任について	原案可決
第 3 回	12 月 25 日	第 5 号	公益財団法人市原市文化振興財団の役員等の報酬 等及び費用弁償の支給に関する規程の一部改正に ついて	原案可決

第 2 回及び第 3 回は決議の省略による。

3 職員に関する事項

①研修会・講習会

市民サービスの向上と職員の自己啓発、スキルアップを目的に、全国公立文化施設協会が実施するアートマネジメント研修会をはじめ、様々な研修会、講習会等で知識の習得や技術の向上に努めるとともに、県内で同様の施設を管理運営している団体との情報交換会に参加しました。

また、専門家を講師に招き、職員全員を対象に、劇場・音楽堂におけるトラブルや事故事例について学ぶ研修会も実施しました。

②職員数の推移

区分	平成 28 年度末 (人)		平成 29 年度末 (人)		平成 30 年度末 (人)	
	一般職	臨時職等	一般職	臨時職等	一般職	臨時職等
7	1				1	
6	1		1		1	
5	1		1			
4	2		2		3	
3	2		2		1	
2						
1	2		3		3	
臨時職等		6		5		5
計	9	6	9	5	9	5

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	138,244,102	123,883,524	14,360,578
未収金	15,715,125	15,720,380	△ 5,255
前払金	68,040	361,426	△ 293,386
立替金	122,227	129,879	△ 7,652
流動資産合計	154,149,494	140,095,209	14,054,285
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	64,386,149	57,511,212	6,874,937
自主文化事業安定継続実施準備資金	60,000,000	70,000,000	△ 10,000,000
東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業準備資金	12,000,000	12,000,000	0
公用車取得資金	0	2,167,500	△ 2,167,500
チケット予約システム取得資金	0	10,400,000	△ 10,400,000
特定資産合計	136,386,149	152,078,712	△ 15,692,563
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2,023,572	2,023,572	0
什器備品	19,257,200	19,257,200	0
減価償却累計額	△ 18,304,122	△ 17,722,542	△ 581,580
電話加入権	101,300	101,300	0
受入保証金定期	900,000	0	900,000
その他固定資産合計	3,977,950	3,659,530	318,420
固定資産合計	143,364,099	158,738,242	△ 15,374,143
資産合計	297,513,593	298,833,451	△ 1,319,858
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	1,418,645	2,644,421	△ 1,225,776
未払金	7,527,415	7,074,181	453,234
前受金	0	155,400	△ 155,400
預り金	6,839,999	4,867,606	1,972,393
未払法人税等	1,356,800	1,582,400	△ 225,600
未払消費税等	1,656,300	2,139,600	△ 483,300
流動負債合計	18,799,159	18,463,608	335,551
2. 固定負債			
退職給付引当金	64,386,149	57,511,212	6,874,937
受入保証金	900,000	900,000	0
固定負債合計	65,286,149	58,411,212	6,874,937
負債合計	84,085,308	76,874,820	7,210,488
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	210,428,285	218,958,631	△ 8,530,346
(うち特定資産への充当額)	72,000,000	94,567,500	△ 22,567,500
正味財産合計	213,428,285	221,958,631	△ 8,530,346
負債及び正味財産合計	297,513,593	298,833,451	△ 1,319,858

正味財産増減計算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科	目	当年度	前年度	増減
I	一般正味財産増減の部			
	1. 経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	300	300	0
	基本財産受取利息	300	300	0
	特定資産運用益	3,999	6,179	△ 2,180
	特定資産受取利息	3,999	6,179	△ 2,180
	事業収益	243,902,973	271,644,005	△ 27,741,032
	施設管理事業収益	119,179,832	131,223,993	△ 12,044,161
	受託文化事業収益	39,962,247	43,679,389	△ 3,717,142
	自主文化事業収益	12,962,897	31,943,998	△ 18,981,101
	施設貸出事業収益	39,726,615	28,805,265	10,921,350
	飲食提供事業収益	28,558,088	31,093,778	△ 2,535,690
	受託販売事業収益	419,201	1,935,221	△ 1,516,020
	利便性向上事業収益	3,094,093	2,962,361	131,732
	雑収益	196	10,182	△ 9,986
	雑収益	98	10,084	△ 9,986
	受取利息	98	98	0
	経常収益計	243,907,468	271,660,666	△ 27,753,198
	(2) 経常費用			
	事業費	243,170,029	263,658,460	△ 20,488,431
	出演料	50,768,227	73,438,249	△ 22,670,022
	仕入	24,736,538	27,554,626	△ 2,818,088
	給料手当	71,245,562	68,911,713	2,333,849
	役員報酬	4,593,358	4,594,047	△ 689
	退職給付費用	6,806,188	4,678,224	2,127,964
	法定福利費	11,887,584	11,785,526	102,058
	福利厚生費	487,584	420,156	67,428
	旅費交通費	59,536	66,513	△ 6,977
	消耗品費	3,512,534	4,326,870	△ 814,336
	印刷製本費	0	125,720	△ 125,720
	図書購入費	47,002	43,123	3,879
	委託料	49,566,020	50,412,020	△ 846,000
	賃借料	3,761,005	4,128,216	△ 367,211
	燃料費	52,608	52,088	520
	広告宣伝費	5,780,817	4,598,823	1,181,994
	通信運搬費	1,842,228	1,775,060	67,168
	租税公課	214,600	282,600	△ 68,000
	修繕費	3,482,089	3,432,956	49,133

科 目	当年度	前年度	増減
支払手数料	1,514,984	1,139,746	375,238
負担金	182,700	182,700	0
賃金	195,790	86,463	109,327
経理費	545,000	545,000	0
保険料	276,680	280,960	△ 4,280
雑支出	1,029,815	215,481	814,334
減価償却費	581,580	581,580	0
管理費	6,560,985	6,605,804	△ 44,819
給料手当	719,640	696,064	23,576
役員報酬	4,593,356	4,594,047	△ 691
退職給付費用	68,749	47,254	21,495
法定福利費	803,757	851,750	△ 47,993
福利厚生費	4,927	4,246	681
旅費交通費	42,091	21,405	20,686
修繕費	10,000	64,721	△ 54,721
印刷製本費	126,496	126,496	0
交際費	10,000	10,000	0
消耗品費	2,050	1,895	155
広告宣伝費	0	110,000	△ 110,000
研修費	18,519	926	17,593
保険料	70,000	70,000	0
雑支出	91,400	7,000	84,400
経常費用計	249,731,014	270,264,264	△ 20,533,250
当期経常増減額	△ 5,823,546	1,396,402	△ 7,219,948
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	1,350,000	2	1,349,998
雑支出	1,350,000	0	1,350,000
固定資産除却損	0	2	△ 2
経常外費用計	1,350,000	2	1,349,998
当期経常外増減額	△ 1,350,000	△ 2	△ 1,349,998
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,173,546	1,396,400	△ 8,569,946
法人税、住民税及び事業税	1,356,800	1,582,400	△ 225,600
当期一般正味財産増減額	△ 8,530,346	△ 186,000	△ 8,344,346
当期一般正味財産期首残高	218,958,631	219,144,631	△ 186,000
当期一般正味財産期末残高	210,428,285	218,958,631	△ 8,530,346
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	213,428,285	221,958,631	△ 8,530,346

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	合計
	公1	小計	収1	収2	他1	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	300	300	0	0	0	0	0	0	300
基本財産受取利息	300	300					0		300
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	3,999	3,999
特定資産受取利息		0					0	3,999	3,999
事業収益	172,104,976	172,104,976	28,558,088	3,513,294	39,726,615	0	71,797,997	0	243,902,973
施設管理事業収益	119,179,832	119,179,832					0		119,179,832
受託文化事業収益	39,962,247	39,962,247					0		39,962,247
自主文化事業収益	12,962,897	12,962,897					0		12,962,897
施設貸出事業収益		0			39,726,615		39,726,615		39,726,615
飲食提供事業収益		0	28,558,088				28,558,088		28,558,088
受託販売事業等収益		0		419,201			419,201		419,201
利便性向上事業収益		0		3,094,093			3,094,093		3,094,093
雑収益	0	0	90	0	0	0	90	106	196
雑収益		0					0	98	98
受取利息		0	90				90	8	98
経常収益計	172,105,276	172,105,276	28,558,178	3,513,294	39,726,615	0	71,798,087	4,105	243,907,468
(2) 経常費用									
事業費	183,116,567	183,116,567	26,154,071	1,510,103	32,389,288	0	60,053,462		243,170,029
出演料	50,768,227	50,768,227					0		50,768,227
仕入		0	24,156,314	580,224			24,736,538		24,736,538
給料手当	55,413,230	55,413,230	1,439,292	719,640	13,673,400		15,832,332		71,245,562
役員報酬	4,593,358	4,593,358					0		4,593,358
退職給付費用	5,293,703	5,293,703	137,498	68,749	1,306,238		1,512,485		6,806,188
法定福利費	9,399,390	9,399,390	226,194	113,091	2,148,909		2,488,194		11,887,584

福利厚生費	379,228	379,228	9,852	4,927	93,577		108,356		487,584
旅費交通費	59,536	59,536	0				0		59,536
交際費	0	0					0		0
消耗品費	2,874,668	2,874,668	7,278		630,588		637,866		3,512,534
印刷製本費	0	0	0		0		0		0
図書購入費	35,252	35,252			11,750		11,750		47,002
委託料	37,174,518	37,174,518			12,391,502		12,391,502		49,566,020
賃借料	3,593,610	3,593,610	34,000	15,395	118,000		167,395		3,761,005
燃料費	39,455	39,455			13,153		13,153		52,608
広告宣伝費	5,417,594	5,417,594	73,223		290,000		363,223		5,780,817
通信運搬費	1,423,539	1,423,539	44,189		374,500		418,689		1,842,228
租税公課	166,800	166,800	4,400	800	42,600		47,800		214,600
修繕費	2,611,568	2,611,568			870,521		870,521		3,482,089
支払手数料	1,334,252	1,334,252			180,732		180,732		1,514,984
負担金	131,544	131,544	5,481	1,827	43,848		51,156		182,700
賃金	195,790	195,790					0		195,790
経理費	392,400	392,400	16,350	5,450	130,800		152,600		545,000
保険料	207,510	207,510			69,170		69,170		276,680
雑支出	1,029,815	1,029,815					0		1,029,815
減価償却費	581,580	581,580					0		581,580
管理費							6,560,985		6,560,985
給料手当							719,640		719,640
役員報酬							4,593,356		4,593,356
退職給付費用							68,749		68,749
法定福利費							803,757		803,757
福利厚生費							4,927		4,927
旅費交通費							42,091		42,091
修繕費							10,000		10,000
印刷製本費							126,496		126,496
交際費							10,000		10,000
消耗品費							2,050		2,050
広告宣伝費							0		0

研修費								18,519	18,519
保険料								70,000	70,000
雑支出								91,400	91,400
経常費用計	183,116,567	183,116,567	26,154,071	1,510,103	32,389,288	0	60,053,462	6,560,985	249,731,014
当期経常増減額	△ 11,011,291	△ 11,011,291	2,404,107	2,003,191	7,337,327	0	11,744,625	△ 6,556,880	△ 5,823,546
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	1,350,000	1,350,000	0	1,350,000
雑支出		0				1,350,000	1,350,000		1,350,000
経常外費用計	0	0	0	0	0	1,350,000	1,350,000	0	1,350,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	△ 1,350,000	△ 1,350,000	0	△ 1,350,000
他会計振替額	4,408,445	4,408,445				△ 4,408,445	△ 4,408,445		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,602,846	△ 6,602,846	2,404,107	2,003,191	7,337,327	△ 5,758,445	5,986,180	△ 6,556,880	△ 7,173,546
法人税、住民税及び事業税		0				1,356,800	1,356,800		1,356,800
当期一般正味財産増減額	△ 6,602,846	△ 6,602,846	2,404,107	2,003,191	7,337,327	△ 7,115,245	4,629,380	△ 6,556,880	△ 8,530,346
一般正味財産期首残高	198,058,617	198,058,617	38,963,204	11,165,051	48,795,916	△ 58,488,774	40,435,397	△ 19,535,383	218,958,631
一般正味財産期末残高	191,455,771	191,455,771	41,367,311	13,168,242	56,133,243	△ 65,604,019	45,064,777	△ 26,092,263	210,428,285
II 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	194,455,771	194,455,771	41,367,311	13,168,242	56,133,243	△ 65,604,019	45,064,777	△ 26,092,263	213,428,285

※事業区分について

公益目的事業(公1)・・・芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等 (収1)・・・宴会室における飲食提供事業

収益事業等 (収2)・・・その他公益目的事業の推進に資する事業(チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業)

収益事業等 (他1)・・・市原市から指定された施設の管理運営事業(公益目的以外の施設貸出事業)

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

ソフトウェア 定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 自己都合退職による期末退職給与の要支給額100%に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理 税抜き方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	57,511,212	6,874,937	0	64,386,149
自主文化事業安定継続実施準備資金	70,000,000	0	10,000,000	60,000,000
東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業準備資金	12,000,000	0	0	12,000,000
公用車取得資金	2,167,500	0	2,167,500	0
チケット予約システム取得資金	10,400,000	0	10,400,000	0
小 計	152,078,712	6,874,937	22,567,500	136,386,149
合 計	155,078,712	6,874,937	22,567,500	139,386,149

注)「公用車取得資金」及び「チケット予約システム取得資金」は、積立計画中止による減少である。

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債の対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	—
小 計	3,000,000	3,000,000	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	64,386,149	0	0	64,386,149
自主文化事業安定継続実施準備資金	60,000,000	0	60,000,000	0
東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業準備資金	12,000,000	0	12,000,000	0
公用車取得資金	0	0	0	0
チケット予約システム取得資金	0	0	0	0
小 計	136,386,149	0	72,000,000	64,386,149
合 計	139,386,149	3,000,000	72,000,000	64,386,149

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法による減価償却を行っているもの)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア(公益法人会計V12)	152,000	152,000	0
ソフトウェア(給与ソフト)	45,000	45,000	0
ソフトウェア(チケット販売システム)	4,600,000	4,600,000	0
ソフトウェア(調定用ソフト)	936,000	936,000	0
合 計	5,733,000	5,733,000	0

5 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	57,511,212	6,874,937	0	0	64,386,149

6 関連当事者との取引

該当事項はありません。

7 重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2、3に記載をしているので、内容の記載を省略している。

2 引当金の明細

財務諸表に対する注記5に記載をしているので、内容の記載を省略している。

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	手元保管	運転資金として	524,186
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	〃	120,499,594
〃	千葉興業銀行五井支店	〃	940,070
〃	京葉銀行国分寺台支店	〃	459,226
〃	千葉信用金庫五井支店	〃	156,160
〃	館山信用金庫若宮支店	〃	132,111
〃	市原市農業協同組合本店	〃	129,624
〃	千葉銀行市原市役所出張所	〃	15,403,131
未収金		3月分指定管理料他	15,715,125
前払金		2019事業年度全国公益法人協会会費	68,040
立替金		労働保険料立替金	122,227
流動資産合計			154,149,494
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	みずほ銀行五井支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	3,000,000
基本財産合計			3,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			
定期預金	みずほ銀行五井支店	職員の退職手当支払準備	7,000,000
	千葉銀行市原市役所出張所	〃	10,000,000
	千葉興業銀行五井支店	〃	10,000,000
	京葉銀行国分寺台支店	〃	10,000,000
	千葉信用金庫五井支店	〃	7,386,149
	館山信用金庫若宮支店	〃	10,000,000
	市原市農業協同組合本店	〃	10,000,000
			64,386,149
自主文化事業安定継続実施準備資金			
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	自主文化事業支払準備	60,000,000
東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業準備資金			
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	記念事業支払準備	12,000,000
公用車取得資金			
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	公用車取得支払準備	0
チケット予約システム取得資金			
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	チケット予約システム取得支払準備	0
特定資産合計			136,386,149
(3) その他固定資産			
車両運搬具		公用車	2,023,572
什器備品		チケット予約システム他	19,257,200
減価償却累計額			△ 18,304,122
電話加入権			101,300
受入保証金定期	千葉銀行市原市役所出張所	飲食提供事業保証金	900,000
その他固定資産合計			3,977,950
固定資産合計			143,364,099
資産合計			297,513,593
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金		3月分飲食提供事業費仕入分	1,418,645
未払金		委託料他	7,527,415
預り金		受託チケット代金預かり他	6,839,999
未払消費税等			1,656,300
未払法人税等			1,356,800
流動負債合計			18,799,159
2. 固定負債			
退職給付引当金		職員の退職手当支払準備	64,386,149
受入保証金		飲食提供事業保証金	900,000
固定負債合計			65,286,149
負債合計			84,085,308
正味財産			213,428,285